

山行申し込み、個人山行の届けは**平井**へお願いいたします。

携帯メルアド：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

いわて生協山の会：2025 年 9 - 10 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加〆切	備考
9/20(土)	三ッ石山	★★☆☆	1,000 円	9/15	本州で一番紅葉が早い山に！
9/27(土) -28(日)	全国自然保護集会	★★☆☆	—	9/15	全国連盟の行事として、青森で開催の予定です。
10/4(日)	安家森と津別岳	★☆☆☆	2,000 円	9/29	葛巻町と岩泉町の境の山です。
10/11(土)	十二湖と崩山	★★☆☆	4,000 円	10/6	白神岳の崩山と十二湖を歩きます。
10/19(日)	県連潮風トレイル	★☆☆☆	写真代	9/30	釜石の桑の浜から仮宿愛で 3 時間ほど歩きます。
10/24(金) -25(土)	鳥海山・鶴間池と甑山	★★☆☆	10,000 円	9/30	紅葉の山型の景勝地御トレッキングします。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

秋の紅葉県外山行のご案内

10/24(金)-25(土) 紅葉の秋田～山形 鳥海山・鶴間池と甑山

10/24(金) 7:00 盛岡発⇒9:15 甑山登山口～県境分岐～10:50 男甑～12:20 女甑～甑峠
～13:50 登山口⇒16:00 湯の台・家族旅行村(キャビン泊) <歩行 2:30>

10/25(土) 7:00 宿発⇒7:20 鶴間池入口～鶴間池～中門岳～8:00 入口⇒11:40 法体園地
～法体の池周遊～12:45 園地発⇒15:15 ベルフ牧野林着 <歩行 3:50>

参加費：¥10,000(残金清算) 申込〆切：9/30

11/7(土)-8(日) 紅葉の福島 霊仙・額取山

11/7(土) 7:00 盛岡発⇒東北道⇒10:00 霊山登山口～護摩壇～11:45 山頂～日暮岩
～13:45 登山口⇒16:00 ゲストハウス郡山(泊：食事なし) <歩行 3:00>

11/8(日) 7:00 宿発⇒7:50 御霊櫃峠(登山口)～8:45 大将旗山～9:45 額取山～大将旗山
～12:15 御霊櫃峠⇒14:45 ベルフ牧野林着 <歩行 3:55>

参加費：¥15,000(残金清算) 申込〆切：10/10

次回は 2025/10/9(木) 18:30～ ベルフ青山 2F 会議室にて
10 月の山行計画と納山会の計画などを話し合います。

■8/9(土) 霞露ヶ岳⇒参加希望が少ないため中止

参加希望 平井 1名

■8/23(土) 和賀岳⇒高下岳



参加者 CL /金子・SL/平井・小野・フク子 4名
和賀岳の予定が林道が通行止めの為、時間的に厳しく高下岳に変更になりました。役場情報では災害復旧工事は暫くかかるそうです。キャンセル等あり4人で登りました。牧野林 6:00 発。7:15 登



山口からブナ林をゆっくり登りました。暑くもなくブナ林が爽やかで途中で象の様なブナ大木(ブナぞうさん)があり、ホントにソックリでした(笑) 良く見つけたな!刈払され登りやすい登山道でした。9:45 稜線分岐に着くと和賀岳から根官岳、大荒沢と和賀山塊の山が見渡せました。稜線は風が強く涼しくて寒い位でした。10:00 山頂到着しました。西和賀町や、羽後朝日・和賀岳などの山並みが見渡せました。晴れたら綺麗だと思いました。少し下りおやつ休憩にし、下山しました。下りで男性1人とスライドしました。今日は唯一の登山者です。ブナ林が綺麗で樹林帯の為日差しも無く快適そのもの!!12:00 予定時間より2時間早く登山口に到着することが出来ました。車は私達だけ!?あのすれ違い男性はここまでどうやって来たのかなあ? 来年は和賀岳でニコリキスグ群落が見れるかな?(小野)

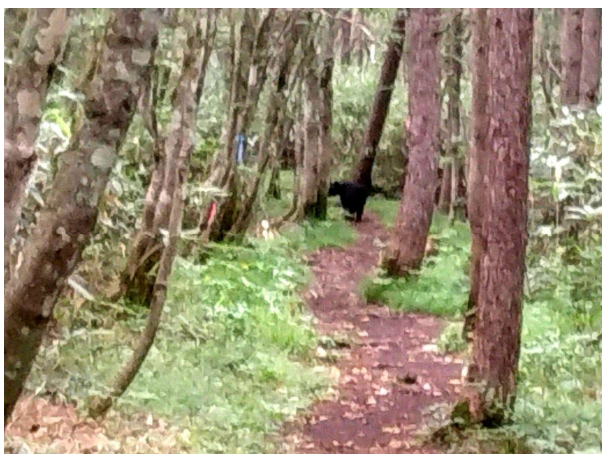
■8/30(土) 岩木山⇒悪天候予報(強風)のため中止

参加予定 CL /金子・SL/平井・泉・小野・フク子 5名

■9/7(日) 県連セルフレスキュー訓練⇒悪天候予報(雨)のため中止

参加者予定 CL /金子 1名

■特別寄稿 熊さんお元気でしたか!街中でも相次ぐ熊の出没…



金子 敏明

8/19(火)今シーズン久々に鞍掛山(滝沢市)で熊さんと会いました。ほぼ毎日鞍掛山に行っているため熊遭遇も多いです。一昨年は6回ほどあっています。今回は鞍掛山のゆうゆうコース(岩手山側)の山頂まで600mの地点。登山道の登りで50m程先に黒い塊が少し動いている。熊発見!まず写真!距離があったので、熊よけホーンを鳴らしました。最初「SOS」次に「猛犬」の音を20秒余り出すと、ようやく熊さんは登山道を20-30m登り、東側の藪の中に消えていきました。体調1m余りの成獣でした。鞍掛山の熊は人馴れしているので出会頭でなければ事故の発生確率は

低いです。私も何度も遭遇して対応には多少慣れていますが、子連れでないこと、近距離遭遇で大声を出すと威嚇していると思い向ってくることも。県内では今年すでに200件近くの出没があり、(昨年150件、一昨年の300件も超す勢い)

住宅近くの町中での出沒も多く 8 月には高松、仁王小学校近くでも。見かけたら警察や市役所へ通報を。山に入る時、山菜取りなどでは複数で、笛ラジオなどで音を出し、熊と出会わない工夫が大事です。万一出会ったら走ったり、背中を見せたりしては駄目。目を離さず、ゆっくり後退。至近距離で遭遇したら、両腕で頭を覆いうつぶせになるなどダメージを最小限にすることです。

■相次ぐ被害「人を恐れないクマ」はなぜ増えた？

東洋経済 ONLINE 2025/09/07 より抜粋

人を恐れないクマが増えた理由

捕殺が減るのに伴い、人間に追われて銃で狙われるといった「怖い経験」をするヒグマも減った。坪田教授は「そのせいで人を恐れないヒグマが増えてきている」と話す。「銃で狙われながら山の中を追い回される経験をしたヒグマは、人間を避けるようになります。捕殺が盛んだった頃、クマは『人間は恐ろしい存在である』と認識していたはずです。その認識は母グマから子グマへも受け継がれていたと思われます。子グマは生きる術を母グマから学習しますから。しかし今では、そうした学習の機会がなくなっています。そのため、人間の存在を気にしない個体が増えてきたのだと考えられます」ヒグマの個体数の増加とともに、人間社会の変化も状況に拍車をかけている。少子高齢化で里山が管理されなくなり、空いた空間に野生動物が入り込むようになった。その中にはヒグマも含まれる。「クマの生息地のフロントラインが、人間の生活圏のすぐ近くまで迫ってしまったのです。これも近年、人間とクマの遭遇が増えている要因の 1 つです」最終的にヒグマが人里に出沒する引き金となるのは、「餌」だ。空腹のクマが餌を探すうち、人間の居住地や農地に出てきてしまう。



「植物性の餌が乏しいとき、クマはアリやハチを食べてしのいでいます。しかし、人里に生ゴミや農作物など栄養価の高い餌があることを学習すれば、そちらに向かうようになります。執着心が強い動物でもあるので、『もう一度食いたい』となったら抑えがきかず、行動がエスカレートしていきます。最初は人間の存在を気にしながら、夜間に恐る恐るやってくるのですが、だんだん日中や、人間がいるときにも出てくるようになり、厄介な害獣になってしまいます。そういう点では、クマに餌をやることは論外です。絶対にやめてください」秋にドングリなどが不足する年には、人里への大量出沒が起こりやすい。「北海道にはドングリ以外の食べ物も比較的多くあるのでヒグマの大量出沒はまれですが、本州のツキノワグマではその傾向がはっきりとしています」と、坪田教授は付け加えた。

クマと遭遇してしまったら？

筆者がどうしても知りたいのは、起きてほしくはないし、確率としては低いのだろうけれど——「もし運悪くクマに遭遇してしまったら、どう行動すればいいのか」ということ。みなさんも気になるだろう。坪田教授によれば「慌てずゆっくりと距離をとる」ことが大切だという。「慌てて逃げると、クマは本能的に追いかけてきます。そして、襲われてしまったときは、急所となる頭と首を守って腹ばいになる、いわゆる『死んだふり』をするか、あるいはダメ元で抵抗することくらいしかできません。死んだふりでも、反撃でも、難を逃れた人はいます。が、それはクマ次第です。

クマよけのスプレーも、あくまで最後の手段ですね。カプサイシン入りのスプレーでクマを撃退した人はいます。クマと出会ったときに何も持っていないよりはいいでしょう。ただし、性能に問題のある商品が多いので、必ず実績のある製品を携帯するようにしてください」そう坪田教授は釘を刺した。

やはり、襲われたときの対応についていくら考えたところで、大きな意味はないのだろう。交通安全を考え

るときに、重要なのは「車両と衝突してしまったときの動き方」ではなく「そもそも車両と衝突しないための心がけ」である。それと同じで、クマに対しても「そもそも出会わないようにすること」を第一の原則としなければならない。

地域で必要なクマ対策とは？

北海道では、標津町や知床国立公園にそのような専門人材が配置され、本州でも島根、兵庫、長野、秋田などの一部地域でも導入が進んでいる。ただ、自治体間の差が大きく、現状、多くの市町村に専門人材は不在。財政事情を考えれば、すべての市町村に専門人材を配置するのは難しい。複数の地域で専門家を共有するなどの工夫は必要だろう。

「専門人材が中心となって、居住地の周囲はやぶ払いや草刈りで見通しをよくし、クマが近づきにくい環境を整える。また、庭に植えられた栗や柿などの果樹は伐採し、生ゴミやコンポストは臭いが漏れないよう密閉して管理する。クマに『人里には餌がある』と学習させないことが何よりも重要です。人間の生活圏に出にくい環境を整えれば、クマの生活は山の中で完結します。個体数が増えれば餌が足りなくなり、繁殖に失敗したり命を落としたりする個体も出てくるでしょうが、それは自然による個体数の調整ですので、人間はそれを気にしなくてよいでしょう」

クマを人間の生活圏から遠ざけることと同時に、危険なクマへの即応体制も求められている。学習によって人里に執拗に出没したり、人間や家畜、農作物に被害を与えるようになったりした個体は、それが存在している限り被害が続くという。つまり、危険なクマが現れたら、可能な限り速やかに駆除しなくてはならない。「行政の中にクマの駆除ができる人を配置できるといいですね。野生鳥獣の専門家でありつつ、有害駆除ができる人材が理想です。今は人材不足のため民間のハンターに頼らざるをえないのですが、本来彼らは要請に応じる義務はありません。行政の中に専門家がいれば、駆除も、日常的な対策や普及啓発活動も円滑に進むでしょう。

「内陸と沿岸の交流山行」のご案内

10/19(日) みちのく潮風トレイル・桑の浜から仮宿（三貫島神社）

9:00 釜石市片岸公園・駐車場集合～桑の浜漁港～三貫島神社(7.6km 約3時間) 14:00 解散

「漁民たちは昔から不漁のときでもこの沖で漁をすれば、少なくとも三貫文は漁ができた」と言われ、ゴールの仮宿地区には、大漁と安全を願って、水の神である市杵嶋姫命(いちきしまひめのかみ)を祀る「三貫島神社」があります。境内には「三巻篇弁財天女」と彫られた石塔があり、経文三巻を埋めたことが「三貫島」の由来という話もあって、島名の由来も「神のみぞ知る」ということでしょうか。 主管：釜石労山

参加費：写真代のみ(県連活動費使用) *申込〆切：9/30

県連 55 周年記念祝賀会のご案内

11/16(日) 13:00～ サンセール盛岡（盛岡市志家町1番10号）

記念講演 「岩手県連の歩み」 中嶋敬治氏

記念祝賀演奏 アルパ演奏 平山順子氏

懇親会 各会より活動の紹介 を予定しております。

*参加申込：各会県連理事が取りまとめ、金子事務局長へお申し込みください。

参加費：¥6,000(飲み放題付き)